

第2回 活断層自治体連携会議 議事要旨

1 日 時 2017年2月1日 午後1時30分から午後5時15分まで

2 場 所 名古屋大学減災館2階 災害対策室

3 出席者（所属）

鈴木康弘（名古屋大学）、山口勝（NHK放送文化研究所）、石黒聡士（愛知工業大学）

自治体：愛知県、名古屋市、岡崎市、蒲郡市、高浜市、幸田町、岐阜県、三重県、四日市市、鈴鹿市、いなべ市、静岡県

その他：大学、企業からオブザーバー出席

4 議事要旨

(1) 鈴木康弘教授の講演 「阪神・淡路大震災から熊本地震へ」

(2) NHK放送文化研究所 山口勝氏の講演 「8Kスーパーハイビジョンの防災活用の可能性」

(3) 自治体からの情報提供

各自治体から以下のことについて情報提供がなされた。

①市内に推定される活断層に関する報告書（概要版）【名古屋市】

②活断層被害想定を行うにあたり、困ったこと【岡崎市】

③活断層にかかる情報を住民に公開する際の方法について（説明の内容、用語の定義、FAQの掲載等）【三重県】

(4) その他

活断層 Q&A のたたき台を作成し、出席者から意見を徴収した。